

## Social: 社会性報告

当社創業者の理念である「我社の本領は最大の会社たらしめんとするにあらずして常に良品を製造する会社で有る事」すなわち、『当社は大きな規模でなくて良い、いつの時代でも良品を造り続ける』という考え方は、本業の生産活動だけでなく、あらゆる活動において一歩一歩地道に積み重ねる風土として根付いてきました。この社会性報告では、ステークホルダーの皆様との関わりについて、『地域社会とともに』や『国際交流』など様々な項目から当社の取り組みを報告します。

## 『人』を中心に 信頼される企業を目指す

秘書広報室・  
総務人事部 担当  
専務執行役員

筏津 謙二



### 本音の『対話』で働きやすい環境をつくる

当社の企業活動はお客様や仕入先の皆様、地域の方々、そして社員、家族などあらゆるステークホルダーの皆様に支えられ、成り立っています。そのことを認識し、今後も信頼されるための行動を社員一人ひとりが日常の中で着実に実践していくことが社会人、企業人としての責任です。一方で、2019年4月1日には『働き方改革関連法』が施行され、短時間で生産性の高い働き方が求められる中、当社では『当たり前となっている仕事のやり方』をゼロベースで見直す取り組みを進めています。労使一体で上司と部下のコミュニケーション強化を図り、本音の対話を通じて仕事の効率化を進めるとともに働きやすい環境づくりに努めています。

### 『人』を育て自然の脅威に備える

2019年は日本各地で多くの自然災害が発生しました。災害により様々な影響を受けられた各地の、一日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます。そのような状況を受け、私達は自動車部品メーカーとして、災害などにより被害を受けた緊急事態を想定し、BCP体制の強化に取り組んでいます。有事であっても損害を最小限に抑え、いち早く事業の継続や復旧を図ることができるよう災害発生を仮定した模擬訓練などを実施。『人』を育てることで会社の基盤を強化し、自然の脅威に備えるとともに企業としての社会的責任を果たすことで、より多くの皆様から信頼いただけるよう一層のレベルアップを図っていきます。

## 地域社会とともに

『よき企業人である前によき市民でありたい』という考えから、継続的な地域貢献活動に取り組んでいます。

### 誠和寮での交流イベント

誠和寮の寮生が中心となって、地域観覧会を始めとするイベントを企画・運営しています。寮生一人ひとりに地域住民であるという自覚を促すとともに、地域の皆様に楽しんで参加していただき、感謝の声をいただいています。



地域観覧会

### 地域産業を担う人財を育成

地域産業を担う人財育成の一環として、地元の工業高校生の企業内実習を受け入れています。2019年の実習では、3DCADを活用した設計業務を体験しました。



### 豊田市初任者研修会

豊田市新任教職員の研修の一環として、豊田市初任者研修会を実施しています。24年目となる2019年は109人を受け入れました。近年は、当社の新入社員とのディスカッションを実施。異業種の視点で意見交換し、互いの視野を広げる取り組みへつなげています。



### 地元小学校との交流

黒笹技術センターでは、地元・黒笹小学校の児童が登校する際に、横断歩道等で見守りを実施しています。この活動は10年以上続いており、2019年には児童手作りの感謝状をいただきました。また、同小学校で実施されたキャリアワークショップに小島総合研究所の社員が参加。樹脂の研究について講話し、児童は研究職の仕事内容について知識を深めました。



### 拳母神社清掃

地域貢献の一環として、地元・拳母神社の境内清掃活動を毎月実施しています。社員と誠和寮寮生が参加しており、2019年で28年目を迎えました。





## こじま福祉会の活動

1971年、現在のこじま福祉会の前身である社会福祉法人『小島会』が設立され、福祉活動を通じて様々な社会貢献活動に取り組んできました。

### ■ 園児が町の防犯活動の一役担う

こじまこども園は豊田市内で人気が高いこども園で、2016年には『子どもにとって最高の安心・安全』をコンセプトに木造平屋建ての園舎が完成しました。また、地域防犯活動として、園児による『ちびっこパトロール』を定期的に行っています。地域の家を訪問し、元気いっぱいの園児が防犯を呼び掛けました。



### ■ 『ボッチャ』を通じ地域と交流

こじまキャンパス、豊田市さくらワークスでは、パラリンピックの正式種目である『ボッチャ』へのチャレンジを2018年にスタート。2019年11月には近隣地区の民生委員の方々30人を招いた青空ボッチャ大会を開催しました。日頃練習を積んだ従業員が、参加した方々にルールやコツを教えるなど、交流の場となりました。



### ■ 地域への恩返し

こじまキャンパス、豊田市さくらワークスでは、従業員が地域の一員として活動の幅を広げ、身体に障がいがあっても積極的な姿勢で社会への参画と奉仕を実践しています。ボランティア活動では、防犯パトロールや立哨活動、地元・拳母神社の清掃などに取り組んでいます。



防犯パトロール

また、地域で働けることに対する感謝の気持ちを伝えるため、毎年『自立と感謝のつどい』を開催。イベントの司会から演舞披露や楽器演奏を従業員が務めており、2019年で17回目を迎えました。



自立と感謝のつどい

## VOICE



### パトロールを通じ地域とのつながりを実感

こじまキャンパスに入所以来、防犯パトロールを12年間続けています。パトロール中に地域の方へあいさつをすると、「いつもありがとう」、「ご苦労様」という声を掛けていただき、やりがいや地域とのつながりを感じますね。これからも地域住民の一員として活動を続けます。

こじまキャンパス 平野 翔太郎 さん

## 国際交流

当社の国際交流活動は1984年に留学生を受け入れたことからスタートしました。同年、(財)コジマ国際育英協会(現・一般財団法人コジマ財団)を設立し、アジアを中心に多くの留学生を受け入れています。

### 小島技能実習生

2006年に中国青海省小島技術研修生(現・小島技能実習生)の受け入れがスタートしました。現在ではベトナムからも実習生を受け入れています。近年では、中国からの実習生は誠和寮で生活。日本人寮生とともに生活する中で、互いの文化交流につながるとともに、実習生の日本語上達に役立っています。



### 青海日本文化交流のつどい

2019年で8回目となる青海日本文化交流のつどいが中国青海省の小島基地で開かれ、1,200人を超える青海省民が参加しました。当社で研修を終えた小島技能実習生や南山大学生が中心となって『お点前』を披露するなど日本文化を紹介し交流を深めました。



### 中国青海省・奨学金奨励金授与式

2019年9月、中国青海省で2019年度の中国青海省・小島奨学金奨励金の授与式が開かれました。60人の青年教師や学生に小島社長が奨学金・奨励金を授与しました。



### 青海省短期留学生の受け入れ

2019年1月21～30日に第10回青海省短期留学生5人、7月22～31日に第11回青海省短期留学生5人が来日しました。短期留学生の受け入れは2014年からスタート。日本の名所やオール小島の製造現場などを見学し、日本文化やものづくりへの関心を高めました。



### こじま留学生寮の提供

一般財団法人コジマ財団ではアジアを中心に各国から留学生を受け入れ、留学生寮を提供しています。2019年は7人を受け入れ、現在までに326人が入寮。近隣の根川小学校で文化体験をするなど、留学生と地域児童の交流の懸け橋にもなっています。また、フィリピン、アルゼンチン、ブラジルでは卒業生が集まる『こじま会』を開催。当時の話や近況報告に花を咲かせました。





## お客様とともに

トヨタ自動車㈱を主要取引先として、『常に良品を造り続ける』会社であり続けるために、オール小島一丸でQCDを意識した良いものづくりに取り組んでいます。

### トヨタ自動車より表彰



トヨタ自動車㈱より、当社の2019年度の取り組みが評価され、『特別賞40年連続原価改善優秀賞』、『VA推進優良賞』、『Smart Standard推進優良賞』を受賞しました。なお特別賞40年連続原価改善優秀賞には、受賞を記念したトロフィーが贈られました。今後もより安くて良い製品を提案し、得意先にとって『なくてはならない存在』を目指します。

### 新型ハイエース ラインオフ式

2019年2月、トヨタ自動車㈱で新型ハイエースのラインオフ式が開かれ、小島プレスの『P席アッパーBOX新開閉機構』と『杉間伐材利用の射出成形バッテリーキャリア』の2事例が技術の部を受賞しました。今回のハイエースは海外向け新シリーズとして発売され、新興国を中心とした国・地域に投入されます。



### SSA現地確認会

トヨタ自動車㈱を招き、SSA現地確認会を実施しています。SSA\*は、ユーザー目線で自動車部品の品質・性能の基準を適正化する活動。2019年は4回実施され、189件の事例を検討しました。基準正当化について即断即決することで、迅速な生産ロス改善につなげています。



※ SSA…Smart Standard Activity

### トヨタ生産方式自主研究会

2019年8～10月、トヨタ生産方式自主研究会が高岡工場で開催されました。正味生産性の向上をテーマに、組付け作業のシンプル化や通い箱の段積み自動化などに取り組む、作業者の負担を低減する改善を実施しました。

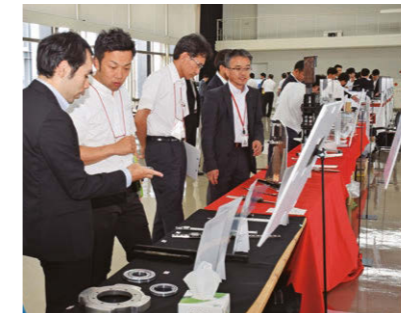


## 仕入先様とともに

『自動車部品づくりを通して社会に貢献する』ため、革新的かつ高品質な製品の提供を目指し、仕入先様と協力し、より良いものづくりに取り組んでいます。

### 仕入先展示会

未来のモビリティ社会に向け、新たな仲間づくりの構築を目指し、社内における仕入先展示会を実施しています。2019年は既存メーカー・新規メーカー合わせて23回開催され、25社の製品や取り組み内容を展示。新商品の開発につなげています。



### 防火点検活動

仕入先各社の安全な職場づくりを目的に、消火栓の管理方法や避難場所の明示などを確認する防火点検活動を実施しています。2019年は当社の社員が34社の仕入先を訪問。また、改善内容をオール小島サプライヤーポータルサイトで横展開することで、安全な職場づくりの理解を図っています。



### 仕入先講習会(射出成形作業実技講習)

当社の社員が講師となり、三河地区の仕入先を対象に仕入先講習会を開いています。2019年には国家技能検定『射出成形作業』の実技講習を実施しました。グループ会社であるテクノハマ㈱を会場に、5、6月に開催。合計で5社8人が参加し、成形技能や知識の向上を図りました。



### オール小島品質管理大会・オール小島仕入先総会

お客様の期待に応えるため、仕入先を含むチーム小島で品質レベルの向上に向けて一丸となり取り組んでいます。毎年、仕入先にも参加していただくオール小島品質管理大会やオール小島仕入先総会では、品質活動方針を展開し、品質レベルの高い会社を表彰しています。



### VOICE



#### 安定供給できる環境を整える

2019年に実施した防火点検活動では従来使用していた火災リスクチェックシートを見直し、優先順位が高いリスクを誰がいつまでに対策するのか明確化しました。また各仕入先を現地で確認する際は過去の火災事例を紹介し、たとえ小さなリスクでも対策する重要性が伝わるよう意識しました。今後も仕入先とともに安定供給ができる環境を整えます。

調達部 調達管理課 新美 潤



## 社員とともに

当社は社員が自分の仕事に誇りや自信を持って働くことができる『明るく楽しい職場』づくりを目指しています。そのため、社内行事を通じてコミュニケーションの促進や、人材育成による一人ひとりのレベルアップを図っています。

### 創立81周年記念式典

当社は創業者の教えの一つとして『フシを大切にすること』を徹底してきました。これは、会社や人生の節目で自己を見つめ直し、次への成長に確実につなげていくためです。会社の創立記念も重要な節目であることから、2019年に全社員参加のもと創立81周年記念式典を開催しました。



### こじまフェスティバル

毎年10月、福利厚生施設『やわらぎ 森のスタジアム』でオール小島やわらぎのつどい〜こじまフェスティバル〜を開催しています。2019年は社員と家族合わせて約5,000人が集まり、交流を深めました。



### 令和元年春の褒章伝達式

令和元年春の褒章の伝達式が開かれ、当社の総務人事部の杉浦利幸さんが『黄綬褒章』を受章しました。杉浦さんは入社以来、金型・設備設計や品質技術の経験を積み、内外装部品の開発設計に従事。製図工としての高い技術が評価され、受章につながりました。



### 豊田市はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰

豊田市はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰が開かれ、最高賞となる『大規模事業所部門 イキイキ大賞』を受賞しました。これは育児・介護休業法を始めとする労働関係法令を上回る制度・規定や職場環境の整備など、イキイキと、働きがいのある職場づくりへの取り組みが評価されたものです。



### こじま教育センター

社員が自身の成長を感じ、仕事に誇りを持ち、明るく楽しく働くことで、会社も成長する。そのような健全な関係を構築するために、教育体制に力を入れています。こじま教育センターでは社員が講師となって知識や技能を教えることで、教える側と教わる側がともに成長する『人材共育』を実施しています。



### 技能五輪全国大会

2019年11月、愛知県で開催された第57回技能五輪全国大会において、機械製図職種の愛知県代表として当社総務人事部の山本隼世さんが出場。全国大会の舞台上で全力を尽くしました。



### 商品企画アイデア実習発表会

新入社員教育の一環として2014年から『商品企画アイデア実習』を実施しています。2019年は10年後のモビリティ社会を自分達で設定し、車の使われ方を想定。あったら良いなというアイテムをアイデア化し、先輩社員に提案しました。



## PICKUP

### 労働組合の活動

労働組合では働きやすい職場環境を目指し、労使一体となって様々な活動に取り組んできました。『働き方検討委員会』では月に一度職場集会を開き、多くの声を集めて会社側に提案。活動の中で見えてきた上司と部下のコミュニケーション不足を解消するため、管理職との昼食懇談会や、社員の資質向上を目的に設けられた『有効活用時間』での話し合いを実施しました。本音で話し合う場を設けることで、互いに歩み寄るためのきっかけづくりに取り組みました。

また、毎年恒例のスポーツフェスティバルや日帰りバスツアー、親子ふれあい工作教室などを通じて、組合員同士や家族の絆を深めています。



『有効活用時間』での話し合い



管理職との昼食懇談会



スポーツフェスティバル



日帰りバスツアー



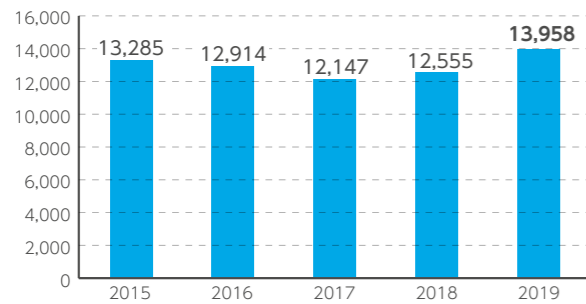
親子ふれあい工作教室



## 心身の健康維持・増進

『明るく楽しい職場』を実現し、活気ある企業活動を推進するためには、社員一人ひとりの心身の健康が基盤となります。当社は1998年4月に『こじま健康管理センター』を設立。医師・看護師・臨床心理士・運動トレーナーなどの専門スタッフを配置し、家族を含めた施策を、会社と健康保険組合が一体となって展開しています。

●こじま健康管理センター年間利用述べ人数(人)



●こじま健康管理センター事業内容図

対象者		診療科目
抗加齢ドック	30歳から55歳まで5歳刻みで被保険者(女性は25歳から)	標準コース
	被扶養者	ライフスタイル改善コース 臨床心理士フォロー面談
内科疾患	急な体調不良者	被扶養者コース
健康相談	希望者	内科診療
復職者	必要な方	健康相談
予防接種など	会社指示	リワークコース
産業医関連	会社指示	トヨタ出向者健診、海外渡航者予防接種
		復職面談、高残業者健康管理など

## 全国THP推進協議会表彰

2019年10月、全国THP推進協議会表彰が名古屋市で開催され、最高の賞である『優良賞』を受賞しました。これは10年以上にわたってTHP(トータル・ヘルス・プランニング)に取り組んだ会社に贈られるもので、抗加齢ドックなど独自の健康維持・増進活動が評価されました。

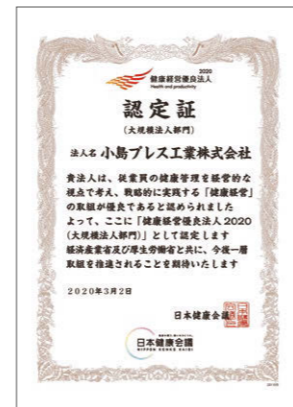


## 禁煙をサポート

改正健康増進法を受け、2020年4月から受動喫煙対策として喫煙所を屋外化することに加え、会社目標として2022年1月からの敷地内禁煙を目指しています。禁煙を支援するため、小島健康保険組合では2019年4月より『禁煙外来補助制度』を開始。また、6~7月には禁煙のきっかけづくりとして、禁煙希望者が支援者とペアになり連続30日間の禁煙に挑戦する『禁煙チャレンジ』を実施しました。2020年からは、『スワンスワンの日(禁煙日)』を社内を設定し、禁煙をサポートしています。

## 健康経営優良法人2020

経済産業省および日本健康会議が主催する『健康経営優良法人2020』の大規模法人部門の認定を受けました。長期テーマ『人をつくり人をまもる』のもと、人を大切にしてきた考え方や、社員の健康へのサポート体制が整っていることが評価されました。



## 社員・家族の健康を促す

小島健康保険組合では社員の自主的な健康維持・増進活動を促すため、2018年から『健康チャレンジ』を実施しています。これは、開催期間内で連続30日間、自分で決めた健康行動でポイントを貯めて景品を狙うもの。2019年はグループ会社合わせて372人が参加しました。また2019年には、5~8歳の子どもの対象に『家族で取り組むかぜ&むし歯予防』を実施。家族の健康増進を目指し、手洗いや歯磨きを促すこの活動に、57世帯71人が参加しました。

## 健康経営講演会

2019年10月、役員を対象に健康経営講演会が開かれました。ブラザー工業(株)の上原正道統括産業医が『健康経営が企業にもたらすポジティブな影響』をテーマに講演。参加した役員は、健康経営活動への知識や必要性の理解を深めました。



## リフレッシュエクササイズ

2014年から、運動する機会場の場づくりとして、リフレッシュエクササイズを実施しています。毎週、ヨガやエアロビクス、太極拳が開催され、2019年は延べ1,078人が参加しました。また、2018年から管理職を対象にバースデイエクササイズを実施。これは、会社の中核となる管理職が誕生日の月に各エクササイズに参加し、率先して健康維持・促進に取り組むことで、会社全体の健康増進を目指しています。

## 家族やOB・OGの健康支援

リラクゼーション器具やトレーニングマシンなど様々な設備をそろえたこじま健康管理センターでは、社員の配偶者やOB・OGを対象に、平日に無料で施設を開放しています。室内で天候に左右されずに運動できるため、空いた時間に気軽に利用でき、運動不足解消や健康づくりの場となっています。



ヨガ エアロビクス 太極拳

## 各種スポーツイベントを開催



社員が楽しみながら運動に取り組めるように、こじま杯や小島プレス労働組合主催のスポーツフェスティバルなど、年間を通して様々なスポーツイベントを開催しています。2019年には初めて、愛知県内の健康保険組合の共同運営イベント『けんぼれんあいち健康ウォーク』に参加。グループ会社合わせて39人が参加し、安城市の探訪コース8kmを歩きました。

## VOICE



### 休日に職場の仲間と汗をかく

運動不足の解消を目的に、『けんぼれんあいち健康ウォーク』に職場の仲間と参加しました。1時間掛けて安城市を歩くため、上司とも気軽に話しながらウォーキングでき、とても良い交流の場になりましたね。普段通らない場所を歩くことは新鮮で、適度に汗をかくことができ、楽しく運動することができました。

安全健康環境部 環境衛生課 安藤 颯太

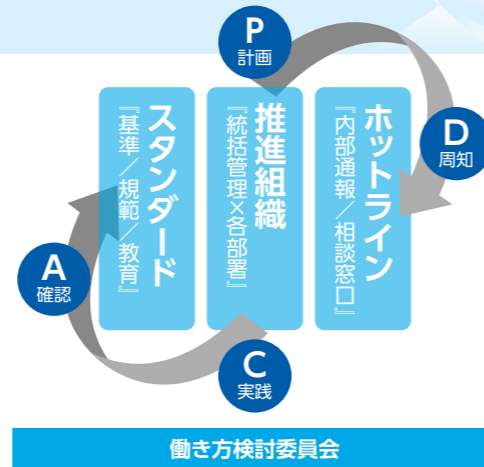


# ガバナンス

当社は長期的な持続的成長を実現するため、また、グループ競争力強化に向けて、コーポレートガバナンスの充実・強化を重要課題として認識しております。

## 社内コンプライアンス体制

就業規則や服務規程の整備、コンプライアンス教育などの『スタンダード』の徹底とともに、万が一コンプライアンス違反があった場合の体制として、『ホットライン(内部通報制度)』を設置しています。『推進組織』が中心となってこれらのPDCAサイクルを回すことで、社内のガバナンス体制の強化につなげています。



## コンプライアンス

当社は地域社会に必要とされ続けるための源泉は『人』であると考え、社員一人ひとりが高い倫理観を持って公正・誠実に行動することを考えており、コンプライアンスの徹底に努めています。

### ■ ところがけ

社員の必携書として、『ところがけ』をオール小島の全社員に配布しています。『創業者語録』や『人の行動8ヶ条』、『服務心得』など、社員一人ひとりのモラル・行動規範が記載されています。

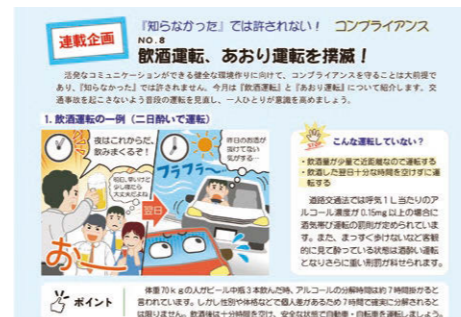


### ■ 内部通報制度

コンプライアンスに関する問題の早期吸い上げと解決のため、社内・社外にコンプライアンス相談窓口『ホットライン』、社内に『ハラスメント相談窓口』を設けています。通報する社員が適正に保護された状態で通報・相談できる仕組みを整えています。

### ■ 社内報で啓もう 『知らなかった』では許されない! コンプライアンス

毎月発行される社内報Relationsには、社員が簡単にコンプライアンスを学べる『『知らなかった』では許されない! コンプライアンス』を掲載しています。イラストと解説文で飲酒運転やハラスメントなどの身近なコンプライアンスを取り上げ、社員一人ひとりの意識を高めています。



### ■ コンプライアンスセミナー

不祥事が発生した場合、風評被害や社員離れなど会社への多大なる影響はもちろん、不祥事を起こした当事者にもペナルティが課せられます。2019年は全社員を対象に、正しい法令を理解することを目的とした、コンプライアンスセミナーを開催。『機密漏えい』や『ハラスメント』を中心に注意点を学びました。



## リスクマネジメント

大規模地震など自然災害の発生を想定し、人命の安全や事業活動への影響の低減を目的とした各種活動に力を入れています。また、『明るく楽しい職場づくり』をキーワードに、全社員の心身の健康を守ることも企業の使命ととらえています。

安全衛生の教育体系として、新入社員から経営層まで、それぞれの職位・階級に応じた様々な教育を実施。新人は、意識・知識・技能を中心とした教育、上位職になるにつれて、管理を中心とした教育に重点を置いています。このような教育を通じて、『ルールを守る』、『自分の職場を守る』、『互いに注意ができる』人づくりに取り組んでいます。

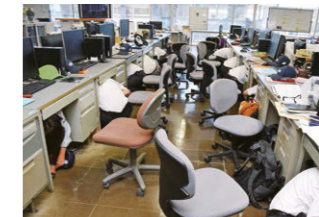
### ■ 災害に備えた体制

災害時にとるべき行動を全社員が体得することを目的に避難訓練を実施しています。震度6強の地震を想定し、地震発生時の避難場所や経路を確認。さらに2019年は消火設備を正しく使用することを目的に、各部署の代表者が消火設備取扱い訓練を実施しました。

また、帰宅困難な状況などを想定し、社員が3日間、生活に困らないよう調理不要の食事や簡易トイレなどの防災備蓄をしています。



非常食や簡易トイレを備蓄



避難訓練(事務所)



避難訓練(工場)



救命講習



消火設備取扱い訓練

### ■ BCP初動訓練

2019年8月、各部代表者を対象にBCP初動訓練を実施しました。大地震発生後、対策本部としてどのように社員の命を守り、事業を継続していくかを体験。工場の被害状況やインフラ状況などの情報が飛び交う中、必要な情報を取捨選択し、事業を遂行するための判断材料を確認する機会となりました。



### ■ 工場安全

トップによる生産現場の『安全点検』を年に2回実施し、各課のリスクアセスメントの内容や災害対策について確認しています。また、2018、2019年には各工場内の危険な場所を把握するため、火災リスク診断を実施。現地現物で安全な職場づくりにつなげています。



安全点検(工場)



火災リスク診断

### ■ 交通安全活動

年に2回、各事業所の周辺でオール小島統一立哨を実施しています。この活動は2011年より始まりました。また、社内のイントラネットで毎月の交通安全情報を全社員に展開し、社員の安全意識向上につなげています。



オール小島統一立哨



交通安全だより(8月)